

# 波々伯部神社の障壁画

ほおかべじんじやの  
しょうへきが

市指定  
所在地：宮ノ前



社務所の上段の間、奥の間、中の間、玄関の間の4室に、36面の襖絵が残されている。このうちの「月下芦雁図」など24面は、長沢芦州ろしやうが描いたものである。芦州は長沢芦雪の養子としてその画業を継いだ絵師である。当神社の障壁画は、芦州の遺された作品が極めて少ない中で、唯一の大作、代表作とされる点で非常に貴重である。

